



■問い合わせ先 県外でのねぶたPR…観光課 (☎40-0236)
 /友好都市交流…文化振興課 (☎40-7015) /関係人口の創出 (Entre!)…企画課 (☎40-7121)

「Entre!」によるねぶた交流



Next Commons Lab 弘前
 コーディネーター 石山 紗希さん

関係人口創出プログラム「Entre!」のねぶたコースは、まつりの人手不足に少しでも貢献できるよう、町会で運営している6つのねぶた団体の運行の準備や後片付けにも参加してもらえるような仕組みにしています。2年間で34人の県外在住者が参加し、うち20人(6割!)が弘前を再訪していて、その場で終わらない交流が続いていることはうれしいです。団体の皆さんの熱さや面白さに触れて、参加者の心に深く残る機会を提供できていると感じています。私もねぶたにハマった一人なので、今年も毎日運行に参加しようかな(笑)。

「ねぶた」の輪を広げたい。

県外でのねぶた出陣一例

- 2011年～ 弘前ねぶた浅草まつり @東京都台東区
- 2017年～ 北斎まつり @東京都墨田区
- 2022年～ 弘前ねぶた in 神戸 @兵庫県神戸市
- 2023年～ 弘前ねぶた in 今治 @愛媛県今治市

※このほかにも、ふるさと祭り東京(東京ドーム)、楽天モバイルパーク宮城(仙台市)、北海道函館市、愛知県豊田市などにも出陣しています。



▲神戸ポートタワーと弘前ねぶた

友好都市交流

【北海道斜里町】
 1983年に友好都市提携の盟約を締結し、毎年7月に開催される「しれとこ斜里ねぶた」に参加

【群馬県太田市】
 2006年に友好都市提携の盟約を締結し、毎年8月に開催される「尾島ねぶたまつり」に参加

弘前ねぶたまつりには、毎年、両都市の囃子方などが参加し、現在もなお、「ねぶた」がっさど交流が続いています。

2022年に開催した「弘前ねぶた300年祭」では、弘前・斜里・太田の3都市のねぶたが弘前に集結し、ねぶた運行を行いました。



▲斜里ねぶた運行に参加する「弘前市民号」の皆さん



▲弘前市から太田市に寄贈した「友好都市交流ねぶた」



西地区ねぶた親交会
 会長 白井 宏之さん

西地区は「組ねぶた」という特性もあり、紙貼りや色塗りなど、いろんな経験をしてもらえたと思いますし、会としても人手が増えて助かりました。自分が手をかけたねぶたの運行が良い思い出になったようで、次の年のまつり運行や弘前ねぶた浅草まつりに参加してくれた人もいます。このプロジェクトをきっかけに、ねぶたの輪が広がってほしいですね。



茂森新町ねぶた同好会
 会長 小山内 穂さん

年々地元の参加者が減っていく中で、後片付けでも何でもやってみたくて参加してくれた人が多かったのが嬉しいことでした。すぐに会のメンバーとも打ち解けて、まつり後もSNSでのやり取りが続いていたり、次の年のねぶたに戻ってきてくれたりした人もいます。これからも、興味をもってねぶたに関わってくれる人が参加してくれるとうれしいです。



沿道から見るだけでは味わうことのできないことを、たくさん体験できました。生まれ育った町でもゆかりのある町でもないのに、こんなに思い入れを持つことができたのは、地域の皆さん達が良くしてくださったからです。

～おわりに～

今回は、「ねぶた」がっさど人と人の縁を紹介しました。「ねぶた」という誇らしい文化が、私たちの弘前にあることを改めて感じながら、来月に開催される弘前ねぶたまつりに参加してみませんか。



東京で暮らす中で忘れていた時間の過ごし方、こういうあたたかい付き合い方もあったな、と大切なものを思い出しました。祭りという熱いものが人々の血の中に流れていること目の当たりにし、体験して改めて弘前の人々に尊敬と憧れを持ちました。